

地域の環境・文化・経済などが学べるSDGsスタディツアー

- 【体験名】
- からくり屏風づくり体験（片岡屏風店 様）
- 【お願い】
- ◆冒頭に「すみだの歴史&SDGsの取組」について、お話しをお願いします。（約5分）

◆SDGsに関する学びを参加者へ伝えることを意識し、自身の取組についてご説明をお願いします。

◆体験終了後、「感想」を聞く時間を設けていただくようお願いします。（約10分）
- 【ねらい】
- ◆各事業者さんの取組みや工芸品をSDGsの文脈に沿って伝えることで、その意義や魅力を深く理解してもらい、子供たちにファンになってもらう（今後の応援団を増やす）ことがねらいです。



項目時間		内 容
導 入	5分	<div>●すみだの歴史&SDGsの取組について</div> <div>「すみだの歴史&SDGsの取組」について、ご説明をお願いします。</div> <p>▶体験を行う前に少しだけ、墨田の歴史について紹介します。皆さんはどうして墨田でものづくりが盛んになったか知っていますか？</p> <p>墨田区があるこのエリアはもともと平坦で川に囲まれた水が豊富な場所でした。江戸時代にそこに目を付けた徳川家康がこのエリアを開発して運河をつくったことで、江戸の入り口として日本の各地域から物資がはいってくる場所になりました。そうすると町は栄え、武士が移り住んで武家屋敷が建ち始めました。そして、日用品を販売するために商人や職人が移り住むようになっていきました。そんな中、明暦の大火（めいれきのたいか）と呼ばれる江戸のまちの約6割を焼いてしまう大火事が起きました。</p> <p>この災害を受けた江戸幕府は「江戸」のまちの立て直しをはじめ、運河や道も整備されたことで、新たな武家屋敷や町家などが立ち並ぶようになりました。復興事業の一環でいくつかの橋も建設され、人が行き交う町になり、料理や土産物のお店も増え、さらににぎわうまちになっていきました。その後、明治維新によって武家階級がなくなると、墨田区内の武家屋敷もなくなりました。その跡地に入ってきたのが、今の「ものづくりのまち」の原点となった多種多様な町工場や職人でした。</p> <p>川や水に恵まれたことで、どんどん工場が増え、町工場が集まるエリアとして発展していきました。その後も関東大震災や第二次世界大戦時の火災の被害にあいながらも、そのたびに復興をして、今につながっています。</p> <p>そして、墨田区は2021年に内閣府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に認定されました。産業を更に活性化することで、“すみだ”で暮らす人、働く人たちが「働きがい」や「生きがい」をもち、健康や環境への意識を高め、「持続可能な豊かな暮らし」を実現することが目標です。理想の“すみだ”を実現するため、産業・健康・環境分野を中心に、SDGsの取組を推進しています。</p> <p>そんなすみだのまちにあるこの工房で、本日はからくり屏風づくり体験をしていただきます。・・・体験スタート！</p>
体 験	おまかせ	<div>●端材の有効活用</div> <div>リユースブランド「OTOSHI」についてご説明をお願いします。</div> <p>▶余った和紙や箔をリユースすることは、「ゴミの削減」「資源の消費を抑える」「二酸化炭素の排出量を減らす」といった社会貢献に繋がっています。不用品として処分されるものを繰り返し使うリユースは、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な多作を」の達成と密接な関係にあります。</p> <div>●伝統の手しごとを守る取組</div> <div>屏風が出来上がるまでの分業についてご説明をお願いします。</div> <p>▶伝統工芸品は、伝統的な道具や技術を用いて、主に手作業による分業で作られています。工程に携わる職人たちが、歴史や伝統を守ることを目標に、互いに協力し合い、行動に起こすことは、SDGs目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に深く関係します。</p> <div>●すみだの産業を守る取組</div> <div>「Partireの活動」「すみだ3M運動」についてご説明をお願いします。</div> <p>▶伝統工芸品は社会面（地域の文化を支える資源）と経済面（観光資源）でまちづくりを支えています。産業を守るすみだの取組は、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」に関連します。また、これらの取組によって地域の文化に触れる機会が増える為、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」と関連があります。</p>
ま と め	10分	<div>●まとめワーク ※テキストを使用</div> <div>体験終了後、SDGsに関連した気づきや発見等の感想を聞く時間を設けてください。（2.3名程度）</div> <p>▶体験が早く終了した子には、ワークシートの記入を呼び掛けてください。（体験中にワークシートを完成させる必要はありません）</p> <p>体験を通して、SDGsに関連した気づきや発見があったか発表してくださいと促す→発表者と対話→数名と繰り返し→終了</p>

地域の環境・文化・経済などが学べるSDGsスタディツアー

【体験名】江戸文字体験（アトリエ創藝館様）

- 【お願い】◆冒頭に「すみだの歴史&SDGsの取組」について、お話しをお願いします。（約5分）
◆SDGsに関する学びを参加者へ伝えることを意識し、自身の取組についてご説明をお願いします。
◆体験終了後、「感想」を聞く時間を設けていただくようお願いします。（約10分）



【ねらい】◆各事業者さんの取組みや工芸品をSDGsの文脈に沿って伝えることで、その意義や魅力を深く理解してもらい、子供たちにファンになってもらう（今後の応援団を増やす）ことがねらいです。

項目時間		内 容
導 入	5分	<p>●すみだの歴史&SDGsの取組について 「すみだの歴史&SDGsの取組」について、ご説明をお願いします。</p> <p>▶体験を行う前に少しだけ、墨田の歴史について紹介します。皆さんはどうして墨田でものづくりが盛んになったか知っていますか？</p> <p>墨田区があるこのエリアはもともと平坦で川に囲まれた水が豊富な場所でした。江戸時代にそこに目を付けた徳川家康がこのエリアを開発して運河をつくったことで、江戸の入り口として日本の各地域から物資がはいってくる場所になりました。そうすると町は栄え、武士が移り住んで武家屋敷が建ち始めました。そして、日用品を販売するために商人や職人が移り住むようになっていきました。そんな中、明暦の大火（めいれきのたいか）と呼ばれる江戸のまちの約6割を焼いてしまう大火事が起きました。</p> <p>この災害を受けた江戸幕府は「江戸」のまちの立て直しをはじめ、運河や道も整備されたことで、新たな武家屋敷や町家などが立ち並ぶようになりました。復興事業の一環でいくつかの橋も建設され、人が行き交う町になり、料理や土産物のお店も増え、さらににぎわうまちになっていきました。その後、明治維新によって武家階級がなくなると、墨田区内の武家屋敷もなくなりました。その跡地に入ってきたのが、今の「ものづくりのまち」の原点となった多種多様な町工場や職人でした。</p> <p>川や水に恵まれたことで、どんどん工場が増え、町工場が集まるエリアとして発展していきました。その後も関東大震災や第二次世界大戦時の火災の被害にあいながらも、そのたびに復興をして、今につながっています。</p> <p>そして、墨田区は2021年に内閣府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に認定されました。産業を更に活性化することで、“すみだ”で暮らす人、働く人たちが「働きがい」や「生きがい」をもち、健康や環境への意識を高め、「持続可能な豊かな暮らし」を実現することが目標です。理想の“すみだ”を実現するため、産業・健康・環境分野を中心に、SDGsの取組を推進しています。</p> <p>そんなすみだのまちにあるこの工房で、本日は江戸文字体験をしていただきます。・・・体験スタート！</p>
体 験	おまかせ	<p>●江戸文字とお祭りについて 「江戸文字」と「お祭り」の関連についてご説明をお願いします。</p> <p>▶伝統工芸は社会面（地域の文化を支える資源）と経済面（観光資源）でまちづくりを支えています。「お祭り」が地域経済の活性化と雇用に深く関わっています。関連：SDGs目標8「働きがい経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」</p> <p>●伝統の手しごとを守る取組 提灯が出来上がるまでの分業についてご説明をお願いします。</p> <p>▶伝統工芸品は、伝統的な道具や技術を用いて、主に手作業による分業で作られています。工程に携わる職人たちが、歴史や伝統を守ることを目標に、互いに協力し合い、行動に起こすことは、SDGs目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に深く関係します。</p> <p>●すみだの産業を守る取組 「すみだ3M運動」についてご説明をお願いします。</p> <p>▶伝統工芸品は社会面（地域の文化を支える資源）と経済面（観光資源）でまちづくりを支えています。産業を守るすみだの取組は、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」に関連します。また、これらの取組によって地域の文化に触れる機会が増える為、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」と関連があります。</p>
ま と め	10分	<p>●まとめワーク ※テキストを使用 体験終了後、SDGsに関連した気づきや発見等の感想を聞く時間を設けてください。（2.3名程度）</p> <p>▶体験が早く終了した子には、ワークシートの記入を呼び掛けてください。（体験中にワークシートを完成させる必要はありません）</p> <p>体験を通して、SDGsに関連した気づきや発見があったか発表してくださいと促す→発表者と対話→数名と繰り返し→終了</p>

地域の環境・文化・経済などが学べるSDGsスタディツアー

【体験名】革クラフト体験（アトリエアミーチ様）

- 【お願い】◆冒頭に「すみだの歴史&SDGsの取組」について、お話しをお願いします。（約5分）
◆SDGsに関する学びを参加者へ伝えることを意識し、自身の取組についてご説明をお願いします。
◆体験終了後、「感想」を聞く時間を設けていただくようお願いします。（約10分）



【ねらい】◆各事業者さんの取組みや工芸品をSDGsの文脈に沿って伝えることで、その意義や魅力を深く理解してもらい、子供たちにファンになってもらう（今後の応援団を増やす）ことがねらいです。

項目時間		内 容
導 入	5分	<p>●すみだの歴史&SDGsの取組について 「すみだの歴史&SDGsの取組」について、ご説明をお願いします。</p> <p>▶体験を行う前に少しだけ、墨田の歴史について紹介します。皆さんはどうして墨田でものづくりが盛んになったか知っていますか？</p> <p>墨田区があるこのエリアはもともと平坦で川に囲まれた水が豊富な場所でした。江戸時代にそこに目を付けた徳川家康がこのエリアを開発して運河をつくったことで、江戸の入り口として日本の各地域から物資がはいってくる場所になりました。そうすると町は栄え、武士が移り住んで武家屋敷が建ち始めました。そして、日用品を販売するために商人や職人が移り住むようになっていきました。そんな中、明暦の大火（めいれきのたいか）と呼ばれる江戸のまちの約6割を焼いてしまう大火事が起きました。</p> <p>この災害を受けた江戸幕府は「江戸」のまちの立て直しをはじめ、運河や道も整備されたことで、新たな武家屋敷や町家などが立ち並ぶようになりました。復興事業の一環でいくつかの橋も建設され、人が行き交う町になり、料理や土産物のお店も増え、さらににぎわうまちになっていきました。その後、明治維新によって武家階級がなくなると、墨田区内の武家屋敷もなくなりました。その跡地に入ってきたのが、今の「ものづくりのまち」の原点となった多種多様な町工場や職人でした。</p> <p>川や水に恵まれたことで、どんどん工場が増え、町工場が集まるエリアとして発展していきました。その後も関東大震災や第二次世界大戦時の火災の被害にあいながらも、そのたびに復興をして、今につながっています。</p> <p>そして、墨田区は2021年に内閣府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に認定されました。産業を更に活性化することで、“すみだ”で暮らす人、働く人たちが「働きがい」や「生きがい」をもち、健康や環境への意識を高め、「持続可能な豊かな暮らし」を実現することが目標です。理想の“すみだ”を実現するため、産業・健康・環境分野を中心に、SDGsの取組を推進しています。</p> <p>そんなすみだのまちにあるこの工房で、本日は革のポーチづくり体験をしていただきます。・・・体験スタート！</p>
体 験	おまかせ	<p>●長く大切に使える素材「革」 丈夫で長く使える「革」製品についてご説明をお願いします。</p> <p>▶革製品は、使い込むほどに革独特の「味」が出てきます。使い込むほどに革の表情が変わることを「経年変化（エイジング）」と呼び、メンテナンスが行き届いている革製品は半永久的に使用することが出来ます。限られた資源の中で、1つのものを大切にケアし長く使い続けることが、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」に関係します。</p> <p>●副産物を有効活用した素材 「素材」についてご説明をお願いします。</p> <p>▶墨田で盛んな豚革はサステナブルな素材です。食肉の副産物を有効活用することは、焼却処分による「二酸化炭素の排出量を減らす」取組として、社会貢献に繋がり、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」に関係します。</p> <p>●すみだの産業を守る取組 「すみだ探究工房」についてご説明をお願いします。</p> <p>▶産業を守る上記の取組みは社会面（地域の文化を支える資源）と経済面（観光資源）でまちづくりを支えており、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」に関係します。また、これらの取組によって地域の文化に触れる機会が増える為、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」と関連があります。</p>
ま と め	10分	<p>●まとめワーク ※テキストを使用 体験終了後、SDGsに関連した気づきや発見等の感想を聞く時間を設けてください。（2.3名程度）</p> <p>▶体験が早く終了した子には、ワークシートの記入を呼び掛けてください。（体験中にワークシートを完成させる必要はありません）</p> <p>体験を通して、SDGsに関連した気づきや発見があったか発表してくださいと促す→発表者と対話→数名と繰り返し→終了</p>